

# 令和4年度 第10回大潟区地域協議会次第

日時 令和4年12月22日（木）午後6時30分から  
会場 大潟コミュニティプラザ2階 大会議室

## 1 開会

## 2 会長あいさつ

## 3 報告事項

(1) 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館のメンテナンス休館について 資料No.1

(2) 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館の利活用促進に向けての意見書提出について  
資料No.2

## 4 協議事項

(1) 令和4年度地域活動支援事業の成果報告会について 資料No.3

(2) 地域活性化の方向性について 資料No.4

(3) 視察及び研修会の実施について

## 5 その他

## 6 閉会

## 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館のメンテナンス休館について

### 1 休館内容

期間：令和5年1月10日(火)から令和5年1月20日(金)まで

### 2 理由

館内設備のメンテナンス及び修繕工事实施のため

- 主な修繕工事：大浴場ろ過器取替修繕工事  
真空式温水ヒーター水漏れ修繕工事

### 3 その他

- ・令和5年1月21日(土)以降は、通常営業とする予定です。
- ・社会情勢等により、期間を短縮又は延長する場合があります。

令和4年12月15日

上越市長 中 川 幹 太 様

大潟区地域協議会  
会長 佐藤 忠治

## 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について（意見書）

このことについて、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり当協議会の意見を取りまとめましたので提出します。

### 記

#### 1 意見書の概要

大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進に向けて、市として指定管理者である株式会社大潟地域活性化センターとともに、別紙を基（参考）に利活用促進のための取り組みを進めていただきたいこと。

#### 2 意見書作成の経緯

大潟区地域協議会では、大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館（以下「鵜の浜人魚館」という。）が上越市唯一の温泉街で観光資源の大きなひとつ「鵜の浜温泉」の一角にあるにもかかわらず、利活用の促進が図られていない現状について見聞きしてまいりました。

また、近隣に上越体操場（ジムリーナ）が建設され、東京オリンピックのドイツ体操選手団の事前合宿の受け入れや、体操競技の大会及び合宿の開催による体操関係者の訪問、県立大潟水と森公園の利用者など、交流人口の拡大が期待されておりました。

しかしながら、これらの機会が必ずしも鵜の浜人魚館の利活用促進につながっていない現状については、上越市、特に大潟区にとっては極めて重要な課題として捉えていたことから、令和3年度から大潟区地域協議会の自主的審議事項として「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について」をテーマに、これまで協議してまいりました。

そこで、鵜の浜人魚館の視察や施設職員の方々との意見交換及び今後の改善の方策や収支報告をお聴きするなかで、このたび地域協議会で協議してきた結果を別紙のとおりまとめたものです。

この意見書が利活用促進及び公費負担の軽減の一助になれば幸いと考えております。

大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について（案）

今般、新型コロナウイルスの感染が未だ収束の兆しが見えないなか、関係各位においては大変厳しい状況にあるものと認識しております。

そのような中で本年10月29日・30日に鵜の浜人魚館開館25周年記念-秋の感謝祭が開催され、壁画制作お披露目会など多彩な催しが行われました。開館以来今日まで、地域住民の憩いの場、健康維持・増進の場としてこれまで営業されてこられたことに敬意を表します。この意見書を利活用促進の一助にいただければ幸いと考えております。

大潟区地域協議会としましても、市及び(株)大潟地域活性化センターと連携しながら鵜の浜人魚館の利活用の促進、大潟区の活性化、観光振興・交流人口の拡大に向け議論を深め、活動してまいりたいと考えております。

また、(株)大潟地域活性化センターへ当協議会でまとめた利用促進（案）をお伝えいただきますようお願いいたします。

○支援体制について

1. 新たに（仮称）人魚館サポータークラブ（NSC）を設立する

（1）設置目的

情報発信、イベントや館内演出のアイデア出し、環境整備等をサポートし、鵜の浜人魚館の利活用促進を図る。

（2）入会の呼びかけ

入会の呼びかけは、(株)大潟地域活性化センター及び趣旨に賛同する個人が、下記の人材、個人に対し呼びかける。

- ・鵜の浜人魚館が必要としているインターネットを使つての情報発信
- ・PRできる人材・環境整備をすすめる人材（花壇の花植、土手の草刈りなど）
- ・大潟区在住・在勤の個人、趣旨に賛同する個人

（3）事務局の設置

鵜の浜人魚館に置き、会員登録制とする。

2. 人魚館運営協議会を設立して、大潟区内の各種団体との協議・連携の場とする

（1）設置目的

鵜の浜人魚館は、公の施設であり、大潟区の温浴施設でもあるので、地域住民の憩いの場、大潟区内の工場や商業・福祉施設や病院などで働く人達の健康維持・増進の場でもあるので、広く利用を促し、意見を求め、運営に活用する。また、修繕等施設に関する情報共有や、他の観光施設等との情報交換・連携を図る。

（2）参加を呼びかける団体（案）

大潟観光協会、まちづくり大潟、（仮称）人魚館サポータークラブ、大潟商工会、大潟区町内会長協議会、NPO法人大潟スポーツクラブ、大潟区総合事務所など

（3）呼びかけ

呼びかけは、大潟区地域協議会及び趣旨に賛同する個人が行う。

○その他

1. 各種イベントのPRはインターネットを使用すると共に、大潟区内各町内会への回覧で事前に幅広く周知し、関係団体、企業、学校関係者に協力を依頼されたらどうでしょうか。
2. 鵜の浜人魚館開館 25 周年記念壁画制作において、長野県内にインターネットでクラウドファンディングを行ったように、施設改修などに多額の資金を要する場合は新潟県内外の個人および団体を対象に呼びかけたらどうでしょうか。

# (仮称) <人魚館サポータークラブのイメージ>

- ・事務局は人魚館に置き運営は人魚館と運営サポータークラブで行う
- ・大湊区民他、他地域にも呼びかける（大湊在住・在勤）
- ・個人による登録制
- ・無償または一部有償ボランティア（技術や経験を有するものは有償とする）
- ・イベント開催の企画運営費などの事業予算は（仮称）地域独自の予算を活用
- ・既存の応援隊はそのまま残す

大湊健康スポーツプラザ  
鵜の浜人魚館

支援・協力

仮称<人魚館サポータークラブ>（運営サポーター）  
人魚館が必要としている人的サポート  
「人魚館」といえば、〇〇といったイメージづくり

大湊区民の声を反映するワークショップの開催  
こども、高齢者、各団体 その他

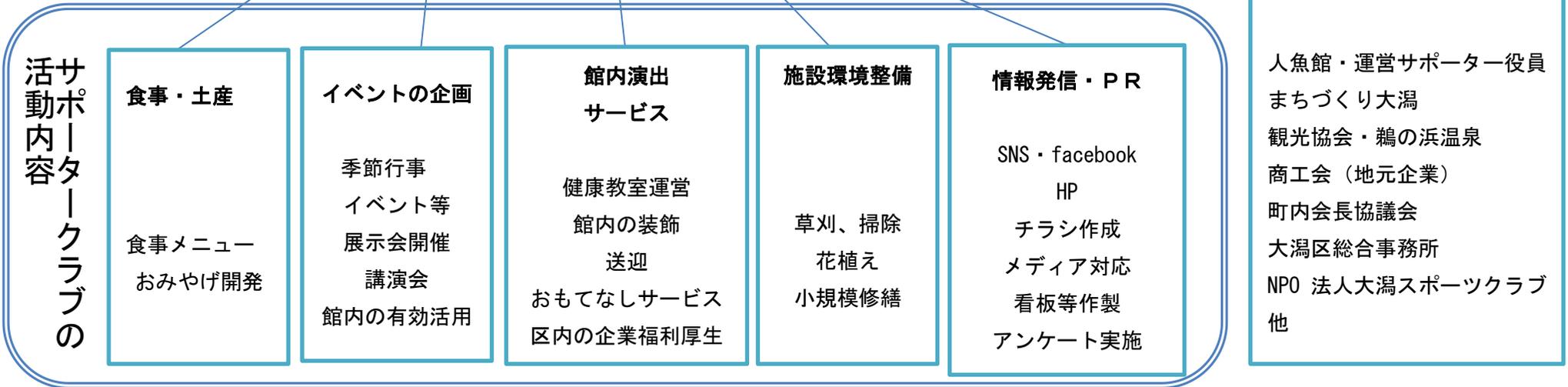
情報収集  
健康・地域福祉

近隣観光協会  
キャンプ場  
ジムリーナ・大湊水と森公園

連携  
観光

<運営協議会>  
修繕や長期的な計画などの協議・連携の場

連携



# 人魚館

## 地域協議会委員からの意見集約

存在意義：健康増進施設、憩いの場、地場産業、雇用の場

どのような施策：広報・PR、施設の使い方・活用方法、区内外の各種団体・企業からの利活用、人材・支援者・協力者、みやげもの・食事・スイーツ（女性など）、ワークショップ（人魚館の人たち、地協の人たち、）勉強会、その他

「人魚館と言えば〇〇」キャッチフレーズ、イメージ作り

いつ、誰が、どのように

季節ごとにやることを決めると良い

現状調査（目的をはっきり）

なぜ利用が減ったのか？原因・要因は何か？  
上越市創造行政研究所への依頼も検討

### 食事・お土産

スイーツ作り（女性向け）  
新しい特産品を作る  
キャンパー向け食事・お土産  
屋外ビアガーデン  
13区の特産品の販売  
土産（みやげ）処  
ここでしか食べられないもの

### 誰に訴求する？

上越地域内  
老人会（健康づくり、楽しみづくり）  
周辺企業（福利厚生）  
関係人口  
観光客

※そこに「行きたい」と思えることが大切

### 温泉の効用・効能

プール  
癒やし



### 明るいイメージ（周辺も含める）

健康作りの場  
テーマパーク的な雰囲気  
花いっぱい（鵜の浜地域）

### 景観づくり

海が見える  
夕陽  
赤いろうそくと人魚  
荒波



### 恋がかなう

シンボリックな建物・設備  
演出・行事は明るい色で

### サポーター

みんなの人魚館と思えること  
利用者の声を聞く、アンケート実施、  
意見交換会

ファンクラブという組織名称  
（事例：柏崎ファンクラブ）

### ワークショップ

共通認識、アイデア・情報交換  
人魚館関係者と地協委員  
区内の議員、町内会との対話

小中高校生にも意見を聞く  
広くアイデア募集  
夏向けなら4月5月開催して施策実施

### PR

#上越もよう（市のキャンペーン、  
インスタグラム）  
ドローン撮影  
LINEを使う  
Facebook  
Twitter  
YouTube  
ホームページ  
看板設置（あと何Km）  
鵜の浜アーチ、案内板  
ブルボンの入り口（木）  
小山作之助にちなんだイメージ作り  
人魚館のお知らせ発行（チラシも）

観光PR紙への掲載依頼

### イベント等

健康をアピール：体を動かす企画と温泉  
講師や主催者（団体）をさがす  
イベントに地域外の人にも参加してもらう  
ストレッチ教室等のイベントを月1回大広  
間で開催し参加してもらう  
地協委員主催でワークショップ  
グルメキャンペーン  
フォトコンテスト  
温泉マイスター  
ヨガ  
整体  
海岸でスキー  
若者向けイベント  
シンポジウム開催、宿泊も誘致

お稽古事や会議での利用  
講師をさがす

### 設備、サービス

イメージアップのための修繕・内装  
設備の見直し  
ランニングマシンなどのジム設備  
ランニング後の入浴サービス  
プールの昼の利用→ビデオを流す

バスの活用（人魚館、社協）  
大潟観光協会の移転  
上越地域医療センター病院の出先  
（健康施設）

### 連携

区内の福祉施設  
鵜の浜温泉旅館と組む  
小中学生に活動に入ってもらう  
キャンプ場・水と森公園と連携  
キャンパーとの連携  
区の企業に利用してもらう  
ジムリーナ  
他のホテル等との連携  
まちづくり大潟、ドローンあり  
利用者と連携した集客

野菜や果物等の農家、漁業関係者  
上越教育大学などの先生と連携

### 経営主体の理念・方針・施策は？

株式会社大潟地域活性化センターの  
役割は？  
Jーホールディングス(株)の役割は？

### 上越市への提言は？

いつどのような内容を提言するか？  
提言前に市側に依頼することは？

### 環境整備

花いっぱい  
公園が広い  
環境整備の人員が足りない  
全体的な景観作り  
草刈り

大潟区地域協議会での主な審議経過

自主的審議事項「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用進について」

令和3年度

月 日	項 目	主な内容
6月10日	木 第3回地域協議会	今後の進め方を検討
7月6日	火 鵜の浜人魚館の現地視察	鵜の浜人魚館の館内視察
8月19日	木 勉強会	視察結果を委員内で情報共有
9月16日	木 第5回地域協議会	今後の進め方を検討
10月28日	木 第6回地域協議会	鵜の浜人魚館職員より現状について報告
11月10日	水 キューピッドバレイ視察	キューピッドバレイの取組を視察
11月25日	木 第7回地域協議会	2班に分かれてグループ討議
12月23日	木 第8回地域協議会	2班に分かれてグループ討議
1月27日	木 第9回地域協議会	2班に分かれてグループ討議
2月24日	木 第10回地域協議会	2班の意見を集約しての検討
3月10日	水 検討会	各委員の意見整理
3月17日	木 第11回地域協議会	各位委員の意見を集約

令和4年度

月 日	項 目	主な内容
4月28日	木 第1回地域協議会	意見交換会の実施方法について
5月24日	火 鵜の浜人魚館職員と意見交換会	地域協議会の検討内容や鵜の浜人魚館の現在の取組等についての意見交換
6月13日	月 第1回検討会	意見交換後の整理
6月16日	木 第4回地域協議会	具体的な支援の方法を検討
6月21日	火 町内会長協議会役員との意見交換会	町内会長の意見を聞き取り
7月12日	火 第2回検討会	意見交換後の整理
7月21日	木 鵜の浜人魚館訪問	人魚館応援隊の現状を確認
7月28日	木 第5回地域協議会	具体的な支援方法を検討
8月1日	月 アンケートの実施	鵜の浜人魚館利用者向けにアンケート
8月9日	火 第3回検討会	具体的な支援内容を整理
8月25日	木 第6回地域協議会	具体的な支援方法を検討
9月6日	火 第4回検討会	具体的な支援内容を整理
9月22日	木 第7回地域協議会	具体的な支援方法を検討
10月5日	水 第5回検討会	意見書まとめ
10月14日	金 第6回検討会	意見書まとめ
10月27日	木 第8回地域協議会	意見書まとめ
11月24日	木 第9回地域協議会	意見書修正

令和4年度地域活動支援事業（大潟区）成果報告会（案）

1 開催趣旨

- ・令和4年度の地域活動支援事業で採択された事業の実績報告をすることにより成果の確認をする。
- ・令和4年度の大潟区地域協議会の活動報告を行い、地域協議会の活動内容を周知する。

2 開催日時 令和5年 月 日（ ） ～

3 会 場 大潟コミュニティプラザ2階 多目的ホール

4 報告事業 令和4年度採択6団体6事業 ※未完の事業も報告を行う。

(報告順)

事 業 名	提 案 団 体 名
① 九戸浜のお宝発掘事業 第2弾 米山道道標看板設置	九戸浜町内会
② 2023 おおがた今昔物語カレンダー作成事業	まちづくり大潟
③ どんどの石井戸を後世に残す事業	辨天池水道組合
④ 屋外スポーツ活動等促進 AED 整備事業	特定非営利活動法人 おおがたスポーツクラブ
⑤ 「天保6年堀割御普請中日記帳」解説文の増刷出版事業	郷土史友の会おおがた
⑥ マタニティー&子育て家族フェス事業	特定非営利活動法人 ふぁみりり

5 報告方法

- ① 報告時間 1事業10分（準備等含む）
- ② 各団体より「報告説明資料」を作成してもらい報告を行う。
- ③ 事業実施中の場合や実績報告未提出の事業は、見込みで報告する。

6 報告者 令和4年度事業実施者（各団体 人程度）

7 所要時間 90分

時間案①	時間案②	内容	備考
18:00～	13:30～	開場	
18:30～18:35	14:00～14:05	開会	
18:35～19:35	14:05～15:05	成果報告(質疑含む)	
19:35～19:55	15:05～15:25	大潟区地域協議会の活動報告	
19:55～20:00	15:25～15:30	閉会	

8 参集者 地域協議会委員、R4 地域活動支援事業提案団体、町内会、まちづくり大潟、小・中学校PTA、小・中学校後援会、大潟区防犯組合、上越交通安全協会大潟支部、R3 地域活動支援事業提案団体他  
※参集者は全体で 人を限度とする。

9 周知方法 ・各団体には個別に周知  
・防災行政無線 ・まちづくり大潟の広報誌に掲載

10 委員役割分担 会場準備（都合のつく委員全員） ※ : 集合時間

受付係（4名） \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

司会（1名） \_\_\_\_\_

案内係（司会、受付以外の委員）

# 大潟区における「地域活性化の方向性」意見集約

令和5年1月26日(木)  
第11回大潟区地域協議会  
資料No.3-2

No.	内容	理由
1 【分類】歴史・景観		【主なキーワード】 旧北国街道、海岸、湖沼群
①	旧北国街道の歴史を活かした観光。	最近、様々な人が自らの足で街道を歩いて、歴史を学んでいる。大潟区も柿崎宿と連携し、宿場と街道を発信したい。佐渡で取り組んでいる世界遺産登録とも少なからず関連があるので、金の道としても活かしていきたい。
②	大潟の海岸の景色を、作詩作曲したものであるということを断言すること。	「松原遠く、消ゆるところ」と、歌われてきたこの歌は、中高年の方なら覚えている人も多くおられる。文部省唱歌「海」。情緒豊かな美しい曲であり、幾多の人に親しまれ愛されてきた、思い出深い曲。 以前から、作詞作曲者不詳とされながらも、小山作之助に違いないと言われてきた。 上越市のホームページにもこの曲の記述があり、「故郷大潟の海岸の景色を、自ら作詩作曲したことを知る者がいないのは、残念なこと」と紹介してある。 私も、松原遠くの「海」は大潟の海であると教わり、感動したことを鮮明に覚えている。 古くから、教え伝えられて来ていることを根拠として、「海」は小山作之助が、大潟の海岸の景色を作詞作曲したものと、断言しても異論は出ないだろう。 「日本音楽教育の母」とも呼ばれた小山作之助は、多岐にわたり多くの曲を作詞作曲したとのことだが、現在私たちが、知っている曲はほとんどない。 この「海」も、今では歌われることも少なく、知らない人も多くいるのも事実。 私たちの住む大潟の地が、松原遠くの「海」の発祥地だとすると、愛着も湧いてくる。 この名曲「海」を再認識し、今、私たちが発信しなければ忘れ去られてしまうだろう。 この歌と共に大潟の魅力を広くアピールし地域活性化につなげることができれば最高。 いつまでも心に残る歌として、「夏は来ぬ」と共に歌い継がれて行くことを願うばかり。 大潟の宝物、日本の宝物、作詞作曲小山作之助、「松原遠くの「海」」である。
③	歌と共に大潟の魅力を広くアピールし地域活性化につなげること。	【1-②参照】
④	伝説や歴史が新しい世代とつながる。	伝説や歴史が語り継がれて史跡等をしっかり管理していくため。
⑤	大潟区の5つの湖沼群(池)の景観整備と有効利用。	池周辺である南大潟地区の活性化を図るため。
⑥	自然と生活が調和するまちづくり 海岸線や森林、自然に恵まれた湖沼群などの環境財産を保全し、緑に囲まれた快適環境で、住みたくなるまちづくり。	日本海と森林、湖沼群と田園地帯は、大潟区にとってはかけがいのない自然環境財産、海岸浸食対策、松くい虫対策、松の木の植樹・育樹の推進による緑地帯の拡充。
⑦	地域資源の発掘と整備による歴史・文化遺産のかおるまちづくり 大潟区固有の人・物・文化遺産等の地域の宝を活かす工夫をする。	既存の地域資源を中心に、更に「地域の宝」を発掘し、全住民による歴史・文化遺産の共有によって「和み」のあるまちづくりを目指す。
⑧	海岸の”波”の回復、消波ブロックの再検討、海辺の景観回復	長い海岸線と砂浜と森林は大潟に住む者の共通にもつアイデンティティと考える。
2 【分類】偉人(小山作之助)		【主なキーワード】 小山作之助、夏は来ぬ
①	小山作之助の偉業を様々なイベントなどで発信し、多くの人に関心を持ってもらう。	高田地区には、小川未明文学館があり、今年は特に生誕140年の節目でもあり、様々な行事が実施されている。 小山作之助も上越市で大きく取り上げられるように大潟区から発信していきたい。
②	松原遠くの「海」が小山作之助の作詞作曲であるということを断言すること。	【1-②参照】
③	心に残る歌として歌い継ぎ「夏は来ぬ」と共に後世に伝え残すこと。	【1-②参照】
④	小山作之助先生の生誕地。	小山先生の知名度と情報を発信するため。
⑤	小山作之助にスポットを当てた町のイメージ。	
3 【分類】観光		【主なキーワード】 鵜の浜温泉、鵜の浜海水浴場、鵜の浜人魚館、大潟水と森公園、ジムリーナ、大潟キャンプ場
①	魅力的な鵜の浜温泉。	上越市の唯一の温泉地である鵜の浜温泉の魅力を広げるため
②	高速道路のパーキングでの特産品の販売。	大潟区の特産品を知って頂くため
③	鵜の浜海水浴場や鵜の浜温泉を中心とした観光。	
④	壮大な日本海、鵜の浜温泉街、人魚館、水と森公園を主体とする観光資源、ジムリーナやアスレチックとキャンプ場のある海浜公園等を活かした観光交流人口の拡充。	夏の海水浴場と釣り、海浜公園でのキャンプ、水と森公園の緑、ジムリーナでの合宿、美田で収穫される美味しいごはん等を活かし、区内の歴史・文化遺産を巡る観光を目指す。
⑤	鵜の浜温泉や海水浴場など観光資源の魅力を磨く。	
⑥	観光地域の見直しと観光資源の連携と情報発信基地の整備。	
⑦	大潟区の魅力を活用して、鵜の浜温泉を観光拠点として整備して賑わいを高める。	
⑧	海岸サイクリング道路の延長・整備	

No.	内容	理由
4	<b>【分類】教育</b>	<b>【主なキーワード】</b> 子育て、青少年の育成
①	教育文化のかおり高いまちづくり 小・中学校、2保育園、併せて、自然環境に恵まれており、子育てに適したまちであり、更に関連施設の充実を目指す。	通学バス、通園バスの拡充をはかり、関連施設の改善を進め、子育て環境の充実化によって、子育て世代の移住、定住を目指す。
②	次世代を担う青少年の育成に努める。	
③	図書室の充実と移転。	
④	中学校の乙女の像の移転。	男子像ととなり併せにすること。
5	<b>【分類】まちづくり</b>	<b>【主なキーワード】</b> 地域づくり、人材育成、生きがいづくり
①	住民の意見を上手に集めていながら地域の発展に貢献できる仕組み(組織)を作る。	まちづくり大湊や地域協議会では力不足。総合事務所も参画した新たな仕組み(組織)が要る。
②	地域協議会委員を男女半々の人数とする。	多様な意見を生かせるような会議体とするため。
③	まちづくり大湊・商工会・観光協会等の団体合同イベントの開催。	イベントを大きくすることにより大湊区をアピールすることができる。
④	頸北地区の連携ネットワークづくり 地域の課題の共有。	
⑤	地域づくり人材育成・社会教育の推進と公民館の活用 生きがいづくりのきっかけづくり。	
⑥	住民相互の交流により、住民の積極的なまちづくりへの参加を促す。	
⑦	男女平等、共同参画を進め、女性活躍を促す。	
6	<b>【分類】商工業</b>	<b>【主なキーワード】</b> 工業・商業の誘致、工業専用地域
①	空き家の再利用(活用)。	商・工・観・住による区民増加が望める。
②	若者が働く事が出来る工業・商業の誘致。	若者の働く魅力ある企業が地区にないため、区外へ出て行ってしまふ。
③	都市計画区域「工業専用地域」の見直し。	工場の誘致進まず。「用途指定」変更推進。
④	都市基盤の整備と共に大湊の水と緑の自然と調和のとれた環境のまちづくり。	
7	<b>【分類】福祉</b>	<b>【主なキーワード】</b> スポーツ、長生き、高齢者の生きがい
①	幼児～中学生の医療無償化。	子供世帯の負担を低減することで住みやすい生活環境を改善する。
②	高齢者の運転免許証の返納支援(オンデマンドバス運用)。	高齢者の交通事故を防ぐために区内を巡回する。
③	スポーツで元気で長生き。	みんなが元気で健康で長生きするためにスポーツが気軽に楽しめるように
④	思いやり・福祉の充実したまちづくり 在宅福祉サービスや福祉施設の整備・充実をはかり、一般住民、高齢者にとっても豊かさや魅力ある住みよいまちづくり。	既存の福祉施設の整備・拡充を進め、犀潟医療センターの「総合病院化」により医療の充実。町時代に計画した「大湊特別養護老人ホーム・ケアハウス」建設計画の具現化をはかる。「福祉のまちづくり」をつくる。
⑤	高齢になっても生きがいをもって地域で活躍できるしくみづくり。	

- 【分類】**
- 福祉 … 福祉や健康の充実
  - 安全安心 … 安全安心な地域づくり
  - 交流人口 … 交流人口の拡大等
  - 地域資源 … 地域資源等を活かしたもの
  - スポーツ … 文化・スポーツ活動等の振興
  - その他 … その他の取組

参考 他地域協議会の「地域活性化の方向性」について 【構成要素】

<b>【牧区】</b> ・おいしい水の恵みのPR(米、農産物、どぶろく 他) ・豊富にある山の食材の活用(ウド、ぜんまい、ヨモギ 他) ・樹木を活用した特産品の企画(メープルシロップ 他) ・四季折々に合わせたイベントの開催(灯の回廊、山里コンサート 他) ・子どもから高齢者までが生きがいを持って暮らすことの推進 ・大自然の中の宿泊施設、公共施設の利用促進 (花の植栽、深山荘、歴史民俗資料館 他)	<b>【板倉区】</b> ・米や蕎麦などの農作物の美味しさや魅力の発信 ・豊かな自然環境や歴史文化をいかした企画 ・美しい景観や里山風景を守る ・子どもたちに板倉を愛する心を育てる ・冬期間の安心安全な暮らしの推進 ・「板倉に住みたい」「板倉に住み続けたい」と思えるような、地域づくり
<b>【名立区】</b> ・地域固有の資源(山・川・海 ほか)を活用した地域の振興 ・歴史・文化の継承、平和を願う活動の継続・発展 ・次代の名立区を担う人材の育成 ・若い世代も一緒になったまちづくりの取組 ・いつまでも安心して暮らすことのできる福祉の充実 ・地域全体での支え合いの推進	<b>【三和区】</b> ・自然(谷内池やオニバス等)や田園の環境保全と情報発信 ・三和区の宝(林富永邸、大間城址、北代ぶどう園等)を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施 ・安全・安心でおいしい米産地として付加価値の高い地域ブランドの形成と、味噌や地酒、栗などの産品を活用した特産品の開発 ・新たな「地域づくりリーダー」や「地域活動コーディネーター」の育成と社会教育の推進 ・地域活性化に寄与する空き家の活用と移住者への支援
<b>【頸城区】</b> ・大池・小池を活かした観光 ・くびきのお宝(レールパーク、館)の活用 ・季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備 ・外国人の交流とファーマーズマーケット(買い物難民対策等)の企画 ・情報発信、子どもが楽しむ場の創出	